

2021 年度事業計画について

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

I. 2021年度基本方針

新型コロナウイルス感染症の拡大は日本経済に大きなダメージを与え、SCはこれまでにないほどの大きな影響を受けた。新規感染者は減少傾向にあり、ワクチン接種も始まったが、いまだに収束の見通しは不透明である。

また、人口減少と少子高齢化が進展し、同時に国を挙げてのデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、SDGsの達成に向けた取組み等が進む。SCは大きな環境変化、潮流変化の真ただ中にある。

課題が山積する中、我々はこれらに向き合い一つひとつ対応していかなければならない。

このような観点から2021年度、新型コロナ対応については引き続き、国や会員の取組み情報をタイムリーに提供・共有する。また公的支援策活用呼びかけや、関係団体と協調した政策要望等を行うなどの会員支援に取組む。

そして、様々な潮流変化等への対応に重点を置いた事業の充実、改善を図るとともに、会員が参加しやすい事業手法を工夫しつつ、その推進に努める。

(1) 会員ニーズへの対応強化

大転換期において会員が抱く課題意識を的確にとらえ、これにフォーカスした事業の企画・推進を図るとともに、ビジネス機会創出のための会員相互のネットワークづくりに取組む。同時に、オンラインとリアルを効果的に活用し、会員の利便性を向上させる。とりわけ昨年度開催できなかった、SCビジネスフェアのリアル開催や接客ロールプレイングコンテストの再開を図る。

(2) 変化を捉えた人材育成

環境変化やスピードに柔軟に対応するためのセミナーや、テナントスタッフ向けの新たな教育プログラムを提供するなどして、会員の経営力強化に寄与する人材育成メニューを充実させる。WEBツールを用いるなどして受講機会を拡げるとともに、受講者拡大を推し進める。

(3) ES・働き方改革の推進強化

人材確保がますます厳しくなると見込まれるなか、「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」に基づき、引き続き各般の施策を講じて、ESのさらなる向上など働き方改革への取組み気運の醸成に努める。活動の中心となる人材確保対策特別委員会においては、SCにおける働き方改革に資するSC運営のあり方等について、ディベロッパーとテナントの議論を深めていく。

(4) デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

DX委員会を中心に会員企業及びSC業界が抱えるDX推進に関わる課題を明らかにし、推進に向けて検討、研究を行い、DX活用事例や新技術の情報提供を行う。そして委員会をまたいだ共創に取組み、SC運営及びテナント店舗運営における業務効率化の支援や、業務システムの標準化を目指す。同時にES・働き方改革の推進につなげていく。

(5) 社会課題の解決に向けた支援

SCの地域における社会的役割が高まっている。いま、企業・団体においては、ステークホルダーの支持の下、SDGsを意識した事業展開が不可欠となっており、SCにおいてもそうした視点で課題解決に寄与することが必要である。そこで、SC業界として解決に貢献すべき社会課題に対する会員の取組み状況や推進上の課題を把握した上で、各分野に応じた対応方針の整理を行う。併せて、業界として機運を高めるため、各種情報を提供する。

以上の基本方針に沿って、委員会、支部が一貫性をもって活動するとともに、2023年に迎える協会50周年に向けて、日本SC大賞の選考基準の検討など、具体的な準備に入る。

2021年度も厳しい環境が予想されるが、会員価値のさらなる創造に努め、会員数は950社程度を目指す。

Ⅱ 会議

1. 総会

【2021 年度】 第 49 回定期総会(2021 年 6 月 2 日予定)

2. 理事会

【2021 年度】 第 1 回理事会(2021 年 4 月 27 日)
第 2 回理事会(2021 年 10 月 26 日予定)

3. 企画会議

【2021 年度】 第 1 回企画会議(2021 年 10 月中旬予定)
第 2 回企画会議(2022 年 3 月中旬予定)

Ⅲ 支部活動計画

支部名	活動報告及び計画
北海道支部	1. 運営委員会 第1回 2021年6～7月、第2回 10月予定 2. セミナー・研修会 2021年10月、2022年3月予定、内容未定 3. SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会 日程:2021年10月15日(金) TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 4. 支部総会・懇親会 2022年3月予定
東北支部	1. 交流・研鑽 (1)秋の研修会(9月下旬～10月上旬) (2)春の研修会(2022年3月上旬 支部総会と同時開催) 2. SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会(10月27日・28日) 3. 支部総会(2022年3月上旬) 4. 支部運営委員会(第1回:7月6日、第2回:9月下旬～10月上旬)
関東・甲信越支部	1. 支部総会・講演会・懇親会(2022年2月下旬～3月上旬) 2. 運営委員会(7月、12月) 3. 研修会(年間4回) 4. SC接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会 (1)関東・甲信越大会・・・9月7日～10日、9月13日・14日／ムーブホール(ムーブ町屋) (2)東京大会・・・10月4日～8日／ムーブホール(ムーブ町屋) 5. 単館SC研究会(年間3～4回)
中部支部	1. 支部総会・講演会・懇親会(2022年3月) 2. 運営委員会(7月、11月、2022年3月) 3. 接客ロールプレイングコンテスト中部大会(11月10日～12日、会場:imy会議室) 4. 支部主催セミナー(7月)
近畿支部	1. 運営委員会 (1)第1回運営委員会(7月9日) (2)第2回運営委員会(12月18日) 2. SC研究会h (1)第1回(8月中) (2)第2回(10月中) (3)第3回(12月中) (4)第4回(2月中) 3. SC研究会セミナー (1)第1回(9月中) (2)第2回(1月中) 4. SC研究会・単館SC統合会議 (1)第1回(4月16日) 5. SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月18日～10月21日) 会場::大阪国際会議場 6. 支部総会(3月18日・ホテルヴィスキオニ崎) (1)2021年度近畿支部活動計画(案) (2)2021年度近畿支部収支予算(案) 7. 総会(3月18日) 8. SCフォーラム(3月18日) テーマおよび講師:未定

<p>中国・四国 支部</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支部総会・記念講演会・懇親会(2～3月) テーマ・講師・会場 未定 2. 運営委員会(7～8月、11～12月、2～3月) 3. 支部主催研修会(11月～12月) テーマ・講師・会場 未定 4. 2021年度 SC 接客ロールプレイングコンテスト、マイスター検定試験の開催について 中国・四国大会スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・申込締切日 2021年10月11日(月) ・競技順・スケジュール公表日 2021年10月29日(金) ・開催日程 2021年11月24日(水)～26日(金) ・会場 丸田産業会議室
<p>九州・沖縄 支部</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支部総会・講演会・懇親会 (2022年3月) 2. 運営委員会(6月) 3. セミナー・研修会および交流会(初夏、秋) 4. SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(9月28日～30日・リファレンス駅東ビル)

IV 委員会事業計画

1. 総務・会員委員会

1. 2021 年度 基本方針

- (1) 会員サービスの向上に努め、会員数 950 社を目途とする
- (2) 人材確保対策への取組みの推進
- (3) 2020 中期経営計画(2020～23 年度)の進捗状況の把握
- (4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握及び総合調整
- (5) 2021 年度予実管理の徹底
- (6) SC ビジネスミーティングを 20 本開催
- (7) 日本 SC 大賞の在り方等の検討
2021 年度においては、総務・会員委員会で論点整理をし、改善すべき点の抽出を行う。これを受けて、検討委員会等を設置し改善すべき点があればその改善策を年度内に取りまとめる。
- (8) 50 周年記念事業の検討

2. 【人材確保対策特別委員会】人材確保・ES 向上に関する 2021 年度の取り組み

次年度協会では、基本方針の1つに、下記の通り「ES・働き方改革の推進強化」を掲げている。

3. ES・働き方改革の推進強化

人材確保がますます厳しくなると見込まれるなか、「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」に基づき、引き続き各般の施策を講じて、ESのさらなる向上など働き方改革への取組み気運の醸成に努める。活動の中心となる人材確保対策特別委員会においては、SCにおける働き方改革に資するSC運営のあり方等について、ディベロッパーとテナントの議論を深めていく。

・SC運営における課題など、ES 向上により、テナントスタッフのモチベーションを UP させ、さらには顧客サービス向上に繋げていくため、ディベロッパーとテナントが協調して取り組むべき課題についてコミュニケーションを深めて認識を整理し共有化を図る場とする。

・取組みテーマ案については、本委員会で決定する。

・共有化できた事柄については、必要に応じて会員周知や方策の提言等を行う。

<継続事業>

NO.	項目	手法	時期等
1	SC 接客ロールプレイングコンテストの大賞受賞者の事例発信	ES特設ページにて	2022年1月以降
2	月刊誌での人材確保、ESに関する情報発信		適宜
3	各委員会への働きかけ	・人手不足をテーマとしたセミナーの開催 (人材育成委員会) ・業務効率化等(DX等)に関する情報提供 (DX委員会)	・2021年度2回開催 ・適宜
4	ES向上・人材確保の定量調査		

3. 2021年度 会員数 950社確保に向けて

(1) 会員数の現状と2021年度の目標

2020年度は入会43社に対し退会は77社(第一種14、第二種34、賛助29)と、第二種会員および賛助会員の退会が多かった。

このような状況を受けて、厳しい環境下ではあるが、協会活動を円滑に進めるためには一定の会員数の確保が必要であり、2021年度の基本方針に基づき、委員会、支部が一貫性をもって活動することで、会員価値のさらなる創造に努め、会員数は950社を目指す。

(2) 会員確保のための施策

2021年度基本方針(案)で、会員企業の新型コロナと潮流変化への対応に資する考えを掲げている。これを受けて、会員確保のため新年度は下記の通り会員の負担を少しでも軽減させ、価値あるサービスを充実させて参りたい。

NO.	項目	活動分野	2021年度の展開			備考
			継続/ 再開	拡大	新規	
1	会員特別価格セミナー	人材育成		○		主に重点テーマセミナーについて実施
2	テナントスタッフ向け教育プログラム	人材育成			○	オンラインでの提供を計画
3	SC白書(Web公開)	情報発信	○			無料公開(2020年度～)
4	月刊SC JAPAN TODAY 最新号 (Web公開)	情報発信	○			会員限定無料公開(2019年7月～)
5	SCビジネスミーティング	情報発信、 研鑽・交流		○		新会員向けや重点テーマ等を意識して、月2回を計画(無料)
6	協会HP改修	情報発信、 研鑽・交流		○	○	会員交流拡大の機能付加 賛助会員の自社PRの機会創出

(3)2021年度入会キャンペーンの実施

前ページの措置に加え、今後の新規入会者については、2021年度に限り、次のような入会キャンペーンを実施して、入会勧誘の一助としたい。

会員種別を問わず会員企業からの紹介で入会する場合は、

- ① 入会金(1～3万)を免除する。
- ② 月刊誌やHPを通して、企業紹介するとともに、WEBセミナーに2回(通常料金@3万円)無料招待する。
- ③ さらに、テナント企業に対しては、一段の負担軽減を図るため年会費(年間4万2千円～12万6千円)を半額とする。

上記、2021年度の入会キャンペーンは、2021年度中に新規入会した企業について、入会時から2022年3月末までの間適用する。

■2021年度入会キャンペーンについて

会員種別	入会金	年会費	入会特典
第二種正会員(テナント)	1万～3万円のところ 無料。	半額(年間4万2千円～12万6千円)	・WEBセミナー2名ご招待 ・月刊誌やホームページを通じて、PRの機会を創出する。
第一種正会員(ディベロッパー)		規程通り	
賛助会員			

2. 公共政策・環境委員会

1. 2021 年度 基本方針

公共政策・環境委員会は、SC 業界に関わる公共政策や環境問題を対象として、官公庁等に対する情報収集・要望・提言を行う他、官公庁等から要請のあった事項または SC 業界において重要と考え得る事項について、官公庁等との連携・協力を含めた幅広い活動を行う。また活動においては SDGs に関し、持続可能な社会の実現に向けたまちづくり・環境対策・地域貢献・災害対策等の取り組みについても継続的に推進する。

2021 年度は引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る公共政策の取り組みは重要となる。他方で、グリーン社会の実現等、政府が掲げる方針等を背景に重要性が高まる社会課題の中で、SC 業界が抱える優先課題について取り組む。法律・制度改正や各種施策等についても、喫緊の事項を中心に情報収集と会員へのタイムリーかつ有益な情報提供に努める。

また、次年度に向けた実効性のある法律・制度改正の要望を行う他、官公庁等の政策・施策に対して然るべき提言を行う。

2. 事業計画(骨子)

(1) 公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動

基礎的活動として、官公庁等の委員会参加や直接的な連携を通じて幅広く情報を収集。活動の中で必要に応じた要望・提言を行う他、説明会や HP・月刊誌等による会員への情報提供に努める。

2021 年度においては 10 月から登録申請が始まるインボイス制度や、今後の状況次第ながら政策的な推進が予想されるインバウンド等も見据えつつ、随時発生する事案に対応して行く。

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る公共政策の取り組み

国や地方自治体等の動向に応じた対応・要望、会員への情報提供を行う他、必要に応じて小売業におけるガイドラインの改訂に向けて取り組む。

(3) 2022 年度税制等改正要望

次年度に向けても、コロナによる影響が深刻化かつ長期化する中での経済政策、SC の社会的役割の 1 つである災害対策、また時勢に即した IT 関連等、SC 業界に必要かつ実効性の高い要望を行う。

(4) 社会課題への取り組み

多岐にわたる社会課題の中で、SC 業界が抱える優先課題としての災害対策や環境問題に取り組む。

特に、環境問題については、SDGs に即して、業界団体として今後取り組むべき課題を明らかにするため、会員の現状(取り組みや課題、行政への要望等)や官公庁等の動向を把握し、具体的な施策や提言の検討を進める。

3. 人材育成委員会

1. 2021年度 基本方針

2020年度～2023年度の中期運営計画スタート年度にあたる2020年度は、SCを取り巻く厳しい環境の中、どのようなときにも必要とされるベーシックなセミナーを提供するとともに、著しく変化する経営環境の中で、SC業界の新時代を見据え、今後のSCの方向性を考えるヒントとなるような内容を提供していく予定だった。

しかしながら、上期は2020年3月以降の爆発的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出を受け、通常の集合研修は延期に次ぐ延期。海外研修ツアーなどはすべて中止を余儀なくされた。下期においても、2019年度より実験的に実施していたWEBセミナーをリアル会場での開催と併用した形で展開した。

2021年度の基本方針は、ベーシックなセミナーと新しい時代への対応(SCにおけるデジタルトランスフォーメーションなど)を見据えたもの、これからのSCを考えるきっかけになる内容とすることを継続する。

WEBセミナーは、第2フェーズと捉え、配信映像の品質向上を目指し、リアル開催とWEB展開のシームレスな二面展開を推進していく。

SC経営士試験実行委員会は、人材育成委員会とより密接な連携を図りながら、円滑に試験関連事業を推進していく。

海外視察研修については、新型コロナウイルスをめぐる各国の対応策は流動的であり、外務省の「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限」情報を注視しつつ、国内外の感染状況次第でアジア、オセアニアを中心に1本を予定。

【重点施策】

- ①「セミナー」は、ベーシックな基本セミナーと共に、新しい時代への対応、人材確保等SC業界の重点テーマを取り上げるとともに、インターネットを活用したWEBセミナーの研修映像としての品質向上を図り、年間48本程度を実施する。
- ②「海外研修」は、新型コロナウイルスをめぐる各国の対応策は流動的なこともあり、外務省の「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限」情報を注視しつつ、国内外の感染状況次第でアジア、オセアニアを中心に1本を予定。
- ③「SCアカデミー」は、第15期では「SC序論(合宿研修)」「SC総論Ⅰ」「SC総論Ⅱ」「SC経営実践論」「特別演習」等の各カリキュラムの内容及びリモート授業方式を含む運営方法の見直しを図り、実施。
- ④「冠講座」「SC経営士資格更新講習」については、SC経営士会の協力のもと、新たな視点を加味し、円滑な運営を図る。冠講座は、大学からの要請次第では、リモート授業方式も採用する。
- ⑤「SC経営士試験」については、第30期試験を行う。試験内容の一層の充実を図りながら、現行試験制度の課題を整理し、見直しの検討をする。

2. 事業計画

(1) セミナー

以下の4点を重点施策として、現プログラムのさらなる内容のアップデートを図る。

- ① SC業界が昨今抱える課題をテーマに実施
- ② インターネット活用によるWEBセミナーの拡充
- ③ テナント企業向け研修コンテンツの充実(新規)
- ④ 既存セミナーの精査・充実

なお、セミナー開催にあたっては、新型コロナウイルスが収束するまで当面の間、講師・運営スタッフ・受講生、会場にいる全員にマスク着用を促し、密集防止のため、受講者数を会場の定員の50%に制限し、受講者間の距離を確保したソーシャルディスタンスを継続する。

① SC業界が昨今抱える課題をテーマに実施

DX(デジタルトランスフォーメーション)を基軸に、最先端テクノロジーを活用した展開事例を紹介し、自社への転用方法を立案してもらうきっかけにさせていただく。また、リアル世界がデジタルの世界に包含されると表現されるアフターデジタルの世界において、人々のインサイトが変容し古典的な心理ファネル(消費者の購買決定心理プロセス)が通用しにくくなってきている状況下、どのような戦略をもってSCビジネスを進めていくべきなのか、マーケティング的視点を学んでいただく内容のセミナーを実施する。

② インターネット活用によるWEBセミナーの拡充

新型コロナウイルス感染回避策として拡大したWEBセミナーは、感染拡大収束が不透明な中、2021年度も継続展開せざるを得ないことも含めてチャンスと捉え、より高品質の映像データをお届けし、SC協会主催セミナーのブランド・リフトを図っていく。セミナー自体の認知度向上、テーマと單元メッセージの想起、次回イベントへの購入意識向上など、業界団体ならではの研修会ブランディングとしてのWEBセミナー第2フェーズとする。

③ テナント企業向け研修コンテンツの充実(新規)

今回の感染症対策で各SC主催の研修会が激減し、学びの場が消失した小売りの現場への支援となる学習コンテンツを今期立案する。既存のLMS(学習管理システム:Learning Management System)サービスを利用し、インターネット経由で、動画として配信。基本的にはスマートフォン、タブレットでの受講を前提に構築する。想像以上に時間の無い店舗スタッフに、スマートフォンを使って「いつでも・どこでも」「隙間の時間」で学べるショートムービーで構成された研修素材とする。

④ 既存セミナーの精査・充実

SC運営・開発業務の基本、並びにステップアップのための講座内容の精査と充実を図る。SC視察交流セミナーは、狭所密閉空間のバックヤード見学等も工程にあり、交流会実施判断も含めて新型コロナウイルス感染状況を注視しながら慎重に対応する。

■2021年度セミナー年間カリキュラム(案)

番号	日付	曜日	セミナータイトル	開催地	分類	分野
1	4月20日・21日	火・水	SC基本管理運営セミナー	東京	A	管理運営全般
2	5月7日	金	テナント向け法律セミナー	東京	A	契約・法律
3	5月19日	水	SC出店契約書作成セミナー	東京	A	契約・法律
4	5月20日	木	～新時代対応シリーズ①～ニューテクノロジー活用セミナー(ニューテクノロジー活用等)	東京	C	事業戦略
5	5月26日	水	新入社員向けフレッシュャーズセミナー	東京	A	管理運営全般
6	5月27日	木	SC販促イベントセミナー	東京	C	販売促進
7	6月10日	木	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す第1回	東京	B	テナント営業
8	6月11日	金	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す第2回	東京	B	テナント営業
9	6月23日	水	SC事業戦略セミナー	東京	D	事業戦略
10	7月1日・2日	木・金	SC緑陰トップフォーラム	静岡・川奈	E	経営戦略
11	7月8日	木	リーシング担当者ステップアップを目指す第1回	東京	B	テナントリーシング
12	7月9日	金	リーシング担当者ステップアップを目指す第2回	東京	B	テナントリーシング
13	7月15日	木	SC法律セミナー	東京	C	契約・法律
14	7月21日	水	テナントミックス・リーシングセミナー	東京	C	テナントリーシング
15	8月18日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第1回「SC管理運営の基礎知識」	東京	A	管理運営全般
16	8月19日	木	～新時代対応シリーズ②～ECとリアル融合から考えるSCの未来セミナー(1)	東京	D	事業戦略
17	8月24日	火	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー～中国編～	東京	C	その他
18	8月25日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第2回「SCテナント営業管理の基礎知識」	東京	A	テナント営業
19	8月26日	木	～新時代対応シリーズ③～ 人手不足問題対策セミナー(1)	東京	C	事業戦略
20	8月27日	金	SC施設管理セミナー	東京	C	その他
21	9月1日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第3回「SC販売促進の基礎知識」	東京	A	販売促進
22	9月8日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第4回「SCテナントミックス、リーシング、出店契約の基礎知識」	東京	A	テナントリーシング
23	9月10日	金	～新時代対応シリーズ④～ 新視点のマーケティング戦略セミナー	東京	D	事業戦略
24	9月15日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第5回「SCテナント更新、リニューアルの基礎知識」	東京	A	開発・リニューアル
25	9月22日	水	～新時代対応シリーズ②～ECとリアル融合から考えるSCの未来セミナー(2)	東京	C	その他
26	9月24日	金	データマーケティングセミナー	東京	C	販売促進
27	9月27日	月	SC視察・交流セミナー	東京	C	その他
28	10月12日	火	SDGsセミナー	東京	C	その他
29	10月20日	水	SCクレーム対策セミナー	東京	C	その他
30	10月22日	金	SC契約セミナー	大阪	C	契約・法律
31	11月11日	木	SC秋晴れトップフォーラム	東京	E	経営戦略
32	11月17日	水	ショップ営業力強化セミナー	東京	C	ショップ関連
33	11月18日・19日	木・金	SC基本開発セミナー	東京	A	開発・リニューアル
34	11月25日	木	危機管理対策セミナー	東京	C	その他
35	12月1日	水	～新時代対応シリーズ⑥～ 新時代対応型SC戦略(出店・リニューアル他)セミナー	東京	C	事業戦略
36	12月2日	木	SCにおけるテナント従業員教育セミナー	東京	C	テナント営業
37	12月7日	火	まちづくり・地域活性化セミナー	東京	C	その他
38	12月8日	水	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー	東京	C	その他
39	2月2日	水	多様化するクレームへの対応セミナー	東京	A	ショップ関連
40	2月9日	水	プロモーション担当者ステップアップを目指す第1回	東京	B	販売促進
41	2月10日	木	プロモーション担当者ステップアップを目指す第2回	東京	B	販売促進
42	2月17日・18日	木・金	SC基本管理運営セミナー	大阪	A	管理運営全般
43	3月4日	金	～新時代対応シリーズ⑦～ 人手不足問題対策セミナー(2)	東京	C	事業戦略
44	3月9日	水	危機管理対策セミナー(食の安全管理)	東京	C	その他
45	3月10日	木	飲食・食品ゾーン活性化セミナー	東京	C	その他
46	3月18日	金	SC視察・交流セミナー	未定	C	その他
47	3月22日	火	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー～米国編～	東京	C	その他
48	3月24日	木	SC契約実務対策セミナー	東京	C	契約・法律

*＜階層＞A…基本編、B…ステップアップ編、C…事例中心、D…中堅向け、E…経営者向け *セミナー日程、内容については、変更になる場合がありますので、ご了承ください。

(2)海外研修

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1本も実施できなかったが、2021年度は観光渡航が可能、かつ邦人渡航客の安全が確認できる国にて現地SCの営業状況等を鑑みながら催行を検討する。なお、検討する催行時期、訪問先候補地域は以下の通り。

実施時期	訪問先候補	テーマ
2022年3月	アジア オセアニア ハワイ	ポストコロナにおけるSCの役割の考察

※渡航先については、治安や感染症の流行などの状況を勘案の上、催行を検討する。

(3)通信教育

- ①主に新入社員や入社(SC業務歴)5年以内の方、基本を再確認したい方々を主な対象として、SC開発及びSC管理運営の基本を学ぶことができるプログラムとする。
- ②SC経営士試験受験者を含めてSCについて学習をしたい方々に紹介する。
- ③2022年度の改訂を目指した推進体制及びスケジュールを検討する。

(4)SCテナントスタッフハンドブック

- ①「SC接客マイスター筆記試験」の参考図書として告知を強化し、販売数増加に努める。
- ②ディベロッパーの新人向けに、テナントとのコミュニケーションツールとして薦める。
- ③2022年度の改訂を目指した推進体制及びスケジュールを検討する。

(5)サポート関連(研修講師派遣)

SCへの講師紹介、賛助会員企業への研修の場の提供など、サポート関連業務(研修講師派遣)について、テナント向け、ディベロッパー向けともに研修カリキュラムをさらに充実させる。

(6)SCアカデミー

- ①2021年度に第15期目を迎え、WGグループからの提案を基本として、講義内容や方法をよりアップデートなものとする。
- ②第15期では第14期で実施した「SC序論(合宿研修)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」、「特別演習」を継続する。
- ③各カリキュラムの内容及び運営方法を見直し、実施。
- ④ゼミ形式を継続し、少人数でのディスカッション、卒論指導などを実施する。
- ⑤16年目に向けてカリキュラムの再検討を行う。
- ⑥2023年度に大阪における合宿研修実施を検討する。

(7)冠講座

SC経営士会との連携のもと、年間2校を実施する。

上期…流通科学大学(兵庫県神戸市)

下期…日本大学(東京都千代田区)

(8)SC経営士更新講習

- ①登録更新の講習対象者95名
- ②講習は大阪と東京にて開催する。
(登録更新人数の増加に伴い、東京での開催回数について、複数回開催を検討)
- ③講習の内容については、SC経営士会が企画・立案を行う。

(9)SC経営士試験関連について

第30期(2021年度)SC経営士試験について

一次試験問題の難易度の再検討を行いながら、目まぐるしく変わる環境変化に対応できる経営視点を持っているかを問う試験をする等、時代に即した内容の充実を図る。

また、SC経営士試験が第30期を迎え、2013年度から実施してきた現行試験制度も、めまぐるしく変わる

社会の変化に伴い、課題も浮き上がってきた。そこで一度課題を整理し見直しの検討を行う。

(10)SC 緑陰トップフォーラムについて

新型コロナウイルス感染者増加を踏まえ、当初7月開催(静岡県川奈ホテル)を延期し、再度企画する。

4. 情報委員会

1. 2021年度 基本方針

情報委員会は、月刊誌「SC JAPAN TODAY」の発行、協会ホームページ、広報などを管轄する委員会であり、SC業界・協会の情報発信の中心的な役割を担っている。

2020年度は、協会ホームページや月刊誌においては、新型コロナウイルス対策の緊急対応など、時流に沿った迅速な情報発信に努めてきた。

2021年度は、会員のビジネス機会拡充に向けた会員情報の発信強化および協会情報の積極的発信を目的に協会ホームページの改修を実施する。

また、月刊誌においては、「アフターコロナ」「デジタルトランスフォーメーション(DX)」「SDGs」「人材確保」を年間軸とし、時流を捉えかつ会員に役立つ情報の発信に努めていくものとする。

2. 事業計画（骨子）

(1) 時流を捉えかつ会員に役立つ月刊誌の発行

月刊誌「SC JAPAN TODAY」は、特集年間軸を基準に、豊富な事例に加え、専門家による提言など会員に役立つ情報を掲載する。

*年間軸:「アフターコロナ」「DX」「SDGs」「人材確保」

(2) 協会ホームページの改修

会員のビジネス機会拡充に向けた会員情報の発信強化に加え、会員やマスコミに向けた協会情報の積極的発信を目的に協会ホームページを改修する。

5. 調査研究委員会

1. 2021 年度 基本方針

調査研究委員会では、「国内外SC及び流通全般にわたる調査及び実情把握、提供」、「経営支援情報等、当面の課題に対する調査研究」、「各国のSC関連団体との交流」を軸に活動をおこなっている。

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大がSC業界にも大きな影響を与えた。2021 年度も収束の見通しが不透明ななか、SCも「新しい生活様式」への対応が求められている。そのような状況を踏まえて、SCの売上や賃料、開発等の動向についてのコロナの影響も考慮した調査を実施していく。また、調査結果について会員、マスメディアへの周知拡大を進め、SC業界の認知度向上を図る。

2. 事業計画(骨子)

(1) SC販売統計調査

販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を実施するとともに、年末年始の販売動向調査を行う。また、精度向上のためサンプル数の増加に取り組む。

(2) SC賃料・共益費実態調査 2021

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料を調査する。また、集計方法についての検討も実施する。

(3) SCオープン、計画情報およびSC基礎データ一覧の更新

SCの新規オープン情報に加えて、会員に向けてSCの開発計画(月次)ならびに全国のSCの基礎情報(年1回・6月)を発信する。

(4) SC白書 2021 の発刊

国内外のSC業界の2020年の動向を記載し、6月2日の定期総会時にHPにて公開し、SC業界動向を広く周知する。新型コロナウイルス対応やDXに関するトピックスも盛り込む。

(5) 立地区分の更新

2016年に立地区分を更新した際の方針に基づき、2020年の国勢調査を踏まえて5年に1度の定期更新を実施する。

(6) 海外SC情報の発信

従来、『SC白書』において年1回の発信に留まっていた海外SC動向について、最新の海外SC情報を会員に提供すべく、ICSC(国際ショッピングセンター協会)が発行するレポートを会員向けに発信する。

(7) 調査結果の周知拡大

調査結果の概要の月刊誌への掲載や、「SC白書 2021」の協会HPでの公開、定例記者懇談会やプレスリリースの配信などを通じて会員、マスメディアへの周知の拡大を図る。

6. 全国大会実行委員会

1. 2021年度(第46回)基本方針

1年を超える新型コロナウイルスの感染拡大で、SCは大きな影響を受け、SC業界は厳しい環境変化、潮流変化の中にある。

現状の課題を捉え、未来に向けたSCのあり方、これからのSCのあるべき方向など、SCビジネスフェア2022で提案、発信する。

- (1) 商談展示会はリアル開催、セミナーではオンラインも併用し、大転換期における会員の課題解決につなげ、ビジネス機会を創出する大会とする。
- (2) セミナーでは、SCを取り巻く厳しい環境変化と聴講者の多様なニーズを捉えたテーマのほか、幅広い視点も加えさらに充実させる。
- (3) 展示会では、一気に加速したDXゾーンを拡大するとともに、ソーシャルディスタンスで交流できる交流コーナーを大きく配置するなど、通常ブースとの相乗効果を図る。
- (4) リアルの価値を最大限に追求し、新たな出展企業の発掘とマッチングを強化させ、交流や商談機会の場として一層の活用がなされるように進める。

2. 事業計画(骨子)

(1) 第46回日本ショッピングセンター全国大会概要

会 期	2022年1月26日(水)～28日(金)
会 場	パシフィコ横浜
参加者	会員を中心としたSCディベロッパー、テナント、サポート企業、官庁、関連団体、学生
主 催	(一社)日本ショッピングセンター協会
後 援	経済産業省、国土交通省、農林水産省、横浜市、日本経済新聞社、織研新聞社、産業タイムズ社(順不同)
協 賛	日本商工会議所、 <u>横浜商工会議所(新規依頼予定)</u> 、日本小売業協会、全国商工会連合会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(一社)日本専門店協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、(一社)新日本スーパーマーケット協会、(一社)日本ボランティアチェーン協会、日本スーパーマーケット協会、(一社)日本フードサービス協会、日本チェーンドラッグストア協会、全国地下街連合会、(一社)不動産協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、全国商店街振興組合連合会、協同組合連合会日本専門店会連盟、(公社)商業施設技術者・団体連合会、(一社)日本商環境設計家協会、(一財)流通システム開発センター、(一社)再開発コーディネーター協会 (順不同)
特別協賛	数社(SCビジネスフェア出展者、セミナー登壇企業、SC協会会員企業等)

●SCビジネスフェア2022**(SCビジネスフェア、セミナー)**

会期 2022年1月26日(水)～28日(金)

会場 展示ホールB・C・D、アネックスホール

内容 SCビジネスフェア2022は、展示ホールB・C・Dにて、16,700㎡の会場面積で開催する。多彩な企業がブースを構えるSC業界唯一の商談展示会。発見マルシェ、学生向けSC業界研究イベントを併催。アネックスホールでは有料セミナー、懇親パーティーを、展示ホールにて無料セミナーを開催。初日にはオープニングテープカットを行う。

●第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

会期 2022年1月28日(金)

会場 パシフィコ横浜 会議センター

内容 支部大会を勝ち抜いた接客のスペシャリストが集い、“SC接客日本一”を決定するSC業界テナントスタッフ対象のロールプレイングコンテスト。大賞受賞者には経済産業大臣賞が贈られる(予定)。

(2) SCビジネスフェア2022事業計画骨子(案)

新型コロナウイルスの影響を受け、大きな潮流変化の中にある会員企業の課題解決とビジネスに繋がる大会とする。

実施にあたっては、会員の状況、新型コロナの感染状況、自治体や展示会におけるガイドラインを注視しながら、下記の事業計画骨子(案)を掲げ、柔軟に対応しながら進めていく。

①出展者と来場者のメリットにつなげる各種施策の推進

- ・出展募集においては、通常小間で550小間を目標に、新規のDXやテクノロジー企業の情報を収集、誘致する。
- ・ビジネスマッチングの環境整備に注力し、マッチングシステムの活用、交流コーナーのほか、新たに商談スペースの設置などを進める。
- ・出展者の利便性を図るため、ブースに訪れた来場者データ等を一括管理できるシステム導入の検討を行う。
- ・来場者募集においても、事前の参加登録を促し、出展者とのビジネスマッチングの環境整備を進める。
- ・SNSやWEBを利用し、幅広く告知し来場者募集に取り組む。

②DX・テクノロジーの情報発信

- ・引き続きDXゾーンを強化、拡大させ、テクノロジーに関連する企業を誘致し出展増を図る。
- ・一気に加速したDXやテクノロジーについて、SCの参考になり、ディベロッパーやテナントの課題解決の一助となるような提案や情報発信を行う。

③発見マルシェの充実

- ・従来にはないようなSCのテナント候補を中心に誘致する。
- ・規模は、SCビジネスフェア2020の実績25社・40小間を維持し、会期中(3日間)の設置で進める。
- ・配置については、テナントゾーンと一体化や、交流コーナーなど賑わいや楽しさを打ち出す工夫を図る。

④海外ディベロッパー企業や団体の誘致

海外ディベロッパーと団体については、オンラインでのプレゼンテーションやセミナーを前提に誘致し、現地ならではの最新の海外情報をSCビジネスフェアから発信する。

⑤特別協賛の見直し

- ・特別協賛(協賛金あり)については、オンラインとリアルの両面から、企業のメリットになり且つ SC ビジネスフェアの価値を高められるようなメニューを作成し、出展募集と併せて募集を開始する。
- ・協力協賛(協賛金なし)として、技術(滞留人数カウント等)や物資(検温、消毒液等)等の企業へ声がけをする。

⑥SC業界研究イベントの方向性の検討

- ・SC ビジネスフェア 2021 オンラインでは、学生向けのイベントはなかったが、オンラインであったため、関東近郊に限らず、全国の学生から参加登録があり、幅広い学生に SC 業界に携わる企業を知ってもらう機会となった。
- ・コロナ下を踏まえた現状の就活状況、学生と参加企業の満足度等を踏まえ、開催方法等について小委員会にて検討を行い、全国大会実行委員会に方向性を提案し進める。

⑦環境への取組み

- ・交流コーナーや商談コーナーなどの共有部分については、これまで以上にリユース、リサイクルを考慮し、一層の環境負荷低減に取り組むとともに、出展企業にも同様の呼び掛けを行う。
- ・小間図等配布物のペーパー使用を削減し、デジタル化も併用する。

⑧SCビジネスフェア2022展示規模

	SCBF2020 (13,300 m ²)	SCBF2022 (16,700 m ²)
	実績	目標
1. 通常出展小間数 (発見マルシェ、業界研究イベントを除く)	501 小間	550 小間
2. 発見マルシェ	40 小間	40 小間
3. 学生のためのSC業界研究イベント	29 小間	20 小間
4. 交流コーナー(交流広場)	23 小間	40 小間
5. 商談コーナー(新規)	-	20 小間
合計小間数	593 小間	670 小間

(3) シンポジウム・セミナー事業計画骨子(案)

① 主催者企画セミナーおよび懇親パーティーの企画

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかない間に、変異株の出現などまだまだ予断を許さない状況ではあるが、ウィズコロナ、ポストコロナを見据え、オンラインとリアルを活用し、2021年度協会基本方針にも掲げている「SDG's」や「DX」、「ES、働き方改革」などをキーワードにし、SC業界喫緊の課題をテーマにしたセミナーを企画する。

また、会員相互のネットワークづくりに、賀詞交歓会を兼ねた懇親パーティーも企画する。

② 一部主催者企画セミナーの再有料化およびWEB配信

前回(SCビジネスフェア2020)まで、パシフィコ横浜・アネックスホールで開催してきた有料セミナーおよび初日の賀詞交歓会を兼ねた懇親パーティーの再開を新型コロナウイルスおよび変異種の感染状況を注視しながら、政府や自治体、関係団体などにおけるガイドラインに沿って予定する。

なお、開催については今回好評いただいたWEBライブ中継やアーカイブ配信を行うなど、オンラインとリアルを活用したハイブリッドでの開催を検討する。

7. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 2021 年度 基本方針

2021 年度はコロナ感染対策として他イベント、業界団体ガイドラインなどを遵守しつつ、密を回避しながら、競技者にとってスムーズな接客が行えるよう、十分な対策を図る。

また、新基準策定会議で修正されたコロナ対応の審査表について、専門審査員への周知徹底を行い、審査の平準化と円滑な運営を推進する。

SC 接客マイスター試験に関しても、さらなる実技試験、筆記試験の審査の平準化を目指す。

2. 事業計画(骨子)

2021 年度支部大会については会場内のコロナ感染対策を徹底したうえ、最小人数の応援団(3 人)のみ入室許可し、一般客は入れない形での無観客開催とする。

全国大会は、現状では通常どおり皆様にご覧いただけるよう、有観客開催を予定している。

(1) ロールプレイングコンテスト

① 支部大会

支部大会	開催日程	会場	申込締切日	競技順・スケジュール公表日	対象都道府県
北海道	10 月 15 日(金)	TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前	9 月 1 日(水)	9 月 21 日(火)	北海道
東北	10 月 27 日(水)・ 28 日(木)	メトロポリタン仙台	9 月 13 日(月)	10 月 4 日(月)	青森、岩手、 宮城、秋田、 山形、福島
関東・ 甲信越	9 月 7 日(火)～ 10 日(金) 9 月 13 日(月)・ 14 日(火)	IMA ホール (光が丘 IMA)	7 月 26 日(月)	8 月 13 日(金)	茨城、栃木、 群馬、埼玉、 千葉、神奈 川、新潟、山 梨、長野
東京	10 月 4 日(月)～ 8 日(金)	ムーブホール(ム ーブ町屋)	8 月 20 日(金)	9 月 8 日(水)	東京
中部	11 月 10 日(水) ～12 日(金)	imy 会議室	9 月 24 日(金)	10 月 15 日(金)	富山、石川、 岐阜、愛知、 三重、静岡
近畿	10 月 18 日(月) ～21 日(木)	大阪国際会議場	9 月 7 日(火)	9 月 24 日(金)	福井、滋賀、 京都、大阪、 兵庫、奈良、 和歌山

中国・ 四国	11月24日(水) ～26日(金)	丸田産業会議室	10月11日(月)	10月29日(金)	鳥取、島根、 岡山、広島、 山口、徳島、 香川、愛媛、 高知
九州・ 沖縄	9月28日(火)～ 30日(木)	リファレンス駅東 ビル	8月13日(金)	9月2日(木)	福岡、佐賀、 長崎、熊本、 大分、宮崎、 鹿児島、沖縄

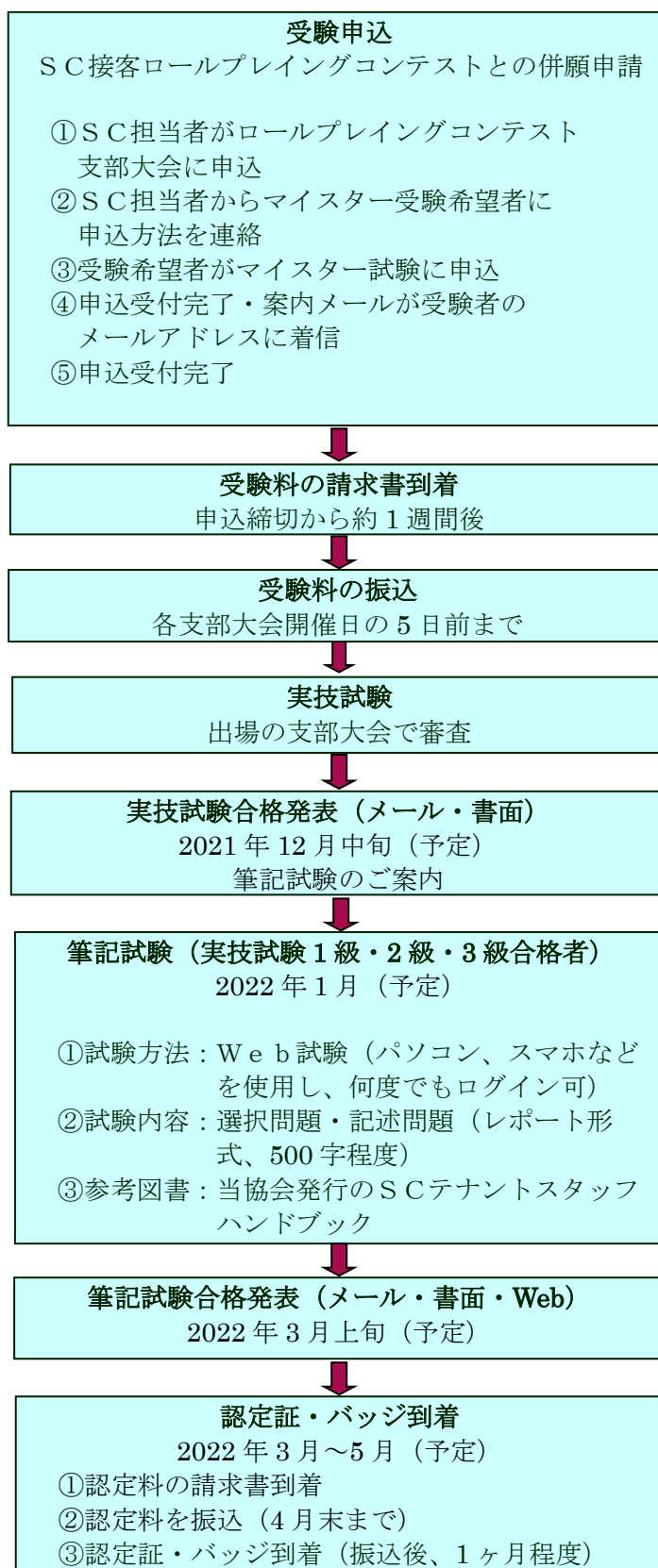
※各会場ともに参加者数に応じて開催日数に変更になる場合があります。

②全国大会

- ・開催日…2022年1月28日(金)(第46回SC全国大会 3日目)
- ・会 場…パシフィコ横浜 会議センター

(2)マイスター検定試験

①2021 年度試験の申込から合格・認定まで



②2021 年度試験の申込締切日

北海道大会出場者	2021 年 9 月 22 日(水)17 時
東北大会出場者	2021 年 10 月 4 日(月)17 時
関東・甲信越大会出場者	2021 年 8 月 16 日(月)17 時
東京大会出場者	2021 年 9 月 10 日(金)17 時
中部大会出場者	2021 年 10 月 15 日(金)17 時
近畿大会出場者	2021 年 9 月 28 日(火)17 時
中国・四国大会出場者	2021 年 11 月 1 日(月)17 時
九州・沖縄大会出場者	2021 年 9 月 3 日(金)17 時

8. デジタルトランスフォーメーション委員会

1. 2021 年度 基本方針

DX 委員会は、SC における業務効率化・生産性向上など、持続的成長のための様々な課題解決に向けて、ニューテクノロジーの活用支援、DX 推進に取り組みやすい環境の整備、DX に取り組む機運の醸成に取り組み、DX 活用による会員企業の更なる事業展開に寄与する。

2021 年度においては、「EX(従業員体験)×協調領域(業界で共通化するメリットが多い領域)」の重点テーマとして『「売上報告／売上管理」の効率化・生産性向上(テナントレジとディベロッパー売上管理システムの連携)』を設定し、具体的な取り組みを進める。また「CX(顧客体験)×競争領域(各社でそれぞれ特性を打ち出して取り組む領域)」については、他委員会等とも連携した月刊誌連載や勉強会など、積極的な情報提供を行う。

2. 事業計画(骨子)

(1)「売上報告／売上管理」の効率化・生産性向上について

売上報告～売上管理業務の代表的な業務より、まずはテナント・ディベロッパー双方のシステムへの影響が軽微と思われる「売上送信端末への情報入力」に着手する。推進にあたっての課題である「メーカー(ベンダー)のシステム開発」「ディベロッパー・テナントによる導入ハードル」に対し、委員または委員企業の適任者によるWGを設置し、「開発促進」「導入費用低減」「導入機運醸成」の3つの観点から具体的な検討を進める。

(2)月刊誌「SC JAPAN TODAY」における連載

月刊誌「SC JAPAN TODAY」にて、DX の知識を高める「連載」を開始する。

連載では、DX のビギナーから現在取り組んでいる企業までを対象に、DX の目的・本質、DX 推進に必要な「ヒト」「モノ」「カネ」などを整理し、それぞれの効率的・効果的な進め方や留意点、そして、実際に SC の現場での応用など、専門家に「ハウツー」を解説いただくものとする。

(3)SC DX勉強会

DXの実践やDXに関わる諸課題の解決の一助となることを目的に、会員誰でも参加可能な会員参加型の定期勉強会を実施する。

外部の専門家や先進的なDXの取り組みを行っている企業、技術保有企業などを講師として招いた講演会・セミナーや、会社の枠を超えてDXに関する悩みの共有・解決や人脈づくりなどを目的とした情報交換会なども開催する。

9. SC 経営士会

1. 2021年度 基本方針

2021年度は新生SC経営士会の活動がスタートして3年目が経過します。昨年度は新体制として、活動の組織基盤強化づくりに努めてまいりました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の収束は不透明ではあるが、SC業界の潮流変化に敏感に対応しつつ、各グループ及び各ブロックの活動を通じて、something new の取り組みと、今まで以上に会員相互の親睦と研鑽に励み、SC協会のシンクタンクの機能としての努めに励みます。

2. 事業計画(骨子)

上記の基本方針を受けて、「研鑽・研究」及び「業務・広報」グループ、各ブロックが、2021年度も積極的に活動していく。

(1)研鑽・研究グループ

- ① 例会の企画・実施
- ② 夏の例会、秋の例会、春の例会
- ③ SC 経営士更新講習の企画
- ④ 研究活動
 - ・変化の激しい SC 業界にあって、これからの SC はどうあるべきかを念頭に、山積する様々な課題の中から適切なテーマを設定し、業界の将来の発展に資する研究を進める

(2)業務広報グループ

- ① 人材育成委員会からの依頼に基づく冠講座(流通科学大学、日本大学)の企画、実施
- ② SC経営士会【THE CIRCLE】の企画・作成
- ③ 若手 SC 経営士交流会(仮称)の企画、開催
- ④ 年次ゼネラルミーティングの企画、運営
- ⑤ SC ビジネスフェア 2022 SC経営士会セミナーの企画、運営
- ⑥ SC ビジネスフェア 2022 協会ブースSC経営士会コーナーの企画、運営
- ⑦ SC経営士相互のための名簿作成

(3)ブロック活動

SC経営士相互の交流を促進するための行事を企画、計画、執行する。
SC経営士が参加しやすいように、行事の開催時期の相互調整を行う。

(4) something new の取り組み

SC 経営士の経営士事業、SC 協会事業への参加意識の向上を図るため、新しい取り組みとしてどんなことでも良いので something new にチャレンジする。

(5) SC協会会員の募集

SC経営士会としてSC協会の会員募集を行う。尚、入会に至った際にSC経営士会へ付与されるインセンティブはSC経営士会のブロック及びグループ活動費等に充てる予定。

2021年度 SC 経営士会 活動スケジュール

2021年2月26日現在

■:実施済み □:予定

2021年度 SC 経営士会 活動スケジュール(案)

	2021年度												2021年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	中旬	下旬
SC協会行事等 1/21更新		□ 4/27 第1回理事会(2021年度活動計画決定) □ 6/2 第2回理事会 □ 6/2 第49回定期総会(2021年度活動計画決定)													
幹事会 1/21更新				□ 7/16 第1回理事会 □ 6/18 第1回正副会長会議											
幹事・各グループ ブロック定例会															
例会(仮)															
研鑽・研究グループ(仮)															
業務・広報グループ(仮)															
北海道ブロック 1/22更新															
東北ブロック 1/25更新															
関東・甲信越ブロック 1/26更新															
中部ブロック 2/1更新															
近畿ブロック 1/22更新															
中国・四国ブロック 1/25更新															
九州・沖縄ブロック 2/1更新															
各ブロックの行事色分けのキャンペーン															